

様々な原因があります

認知機能低下の原因として代表的なものとしてアルツハイマーがあげられますが、その他にも認知機能低下の原因として治療可能な様々な疾病があげられます。

予防・治療が有効です

アルツハイマーを含めほとんどのケースにおいて、予防的アプローチや治療が有効とされています。
一部のケースでは早期に適切な予防や治療を行うことが、ご本人の人生を自立した状態で自分らしく生活できるということにも繋がります。

治療の遅れは後戻りのできないダメージへとつながる可能性もあります

認知機能の低下の理由いかんでは、適切な治療がなされない
と脳へのダメージが進行し、機能回復ができないケースもあります。

早期のケアが重要です

糖尿病や心疾患などと同様に、認知機能低下に対する予防や治療が早期に行われることが最も重要です。

- 主な認知機能低下の原因とは -

ストレスや不安感

注意欠陥障害

うつ病

甲状腺疾患や糖尿病

アルコールや化学物質依存

ビタミンB-12不足

脳ならびに脳血管性疾患

医薬品

アルツハイマー

頭部外傷

その他の状態

認知機能低下について



記憶力の低下が心配になったら
まずはあたまの健康チェックを

株式会社ミレニア：あたまの健康チェック
www.millennia-corporation.jp

定期のチェック を心がけましょう



あたまの健康チェックの特徴

あたまの健康チェックは軽度認知障害(MCI: Mild Cognitive Impairment)と呼ばれる微細な認知機能の低下を97%の精度*で判別するものです。

テストの結果、MCIの疑いありと判定された場合には、予防法や治療法についてお近くの専門医にご相談ください。

*Methods to improve the detection of mild cognitive impairment PNAS, 2005;102(13):4919-24.

軽度認知障害(MCI)

MCIとは、微細な認知機能の低下が認められるが日々の日常生活では自立した状態とされています。

MCIの状態のまま放置した場合であっても、深刻な認知機能低下が起こらないケースもあるとされていますが、その後の予防や治療なしに放置された場合、認知症へと進行するケースも多く報告されています。

記憶の種類

◆ 作業記憶

作業記憶とは、一般的に物事に対する注意間隔などとも呼ばれ1分程度で薄れていく記憶で脳内では前頭葉がこの機能を司ります。

◆ 短期記憶

短期記憶は、数分から数週間程度脳内に記憶されるもので脳内の海馬が司る領域です。

◆ 長期記憶

長期記憶は、生涯維持される記憶で未だ脳内のどの領域で保持されているかは明らかにされてはいません。

脳機能チャート



嗅内皮質 (Entorhinal Cortex)
情報を集めパッケージ化する



海馬 (Hippocampus)
短期記憶を制御する



側頭葉 (Lateral Temporal Lobe)
形状認識、聴覚、言語を制御する



頭頂葉 (Parietal Lobe)
感覚の身体上の位置把握、触覚、理解を制御する



前頭葉 (Frontal Lobe)
性格、気分、動作、決断を制御する



後頭葉 (Occipital Lobe)
視覚を制御する

◆ どんな人があたまの健康チェックを受けるべき?

年齢に関わらず、記憶力の低下が気になる方はあたまの健康チェックの受検をお勧めします。

認知機能低下は多くの場合、年齢に応じた健常なものの忘れであることが多く、ご自身の状態を的確に把握する上でも定期的なチェックは有効です。

チェック後、認知機能低下の兆候がみられる際には、早期にお近くの専門医へ適切な予防法や治療について相談しましょう。

ご家族に認知症の方がいらっしゃる場合には、50歳からの年次定期チェックをお勧めします。

◆ あたまの健康チェックについて

あたまの健康チェックは10分程度で行える簡易で正確性の高いテストで、記憶や決断にかかる機能の判定を行うものです。質問に回答する形式で提供されるテストで、回答はデータベースシステムで解析され結果はレポートとして提供されます。

あたまの健康チェックは認知機能の一般的な評価を提供することを目的としたもので、認知機能に関与しうる病状または病気を診断する、あるいは、治療することを目的としたものではありません。